

写真の町 通信号外01

こだわりの写真が撮れたら、プリントにもこだわってみませんか？少しの変化で写真の印象はがらりと変わります！

Vol.23 写真をプリントする

インク

デジタルカメラから写真をプリントするのに必要なのがプリンター。インクジェットプリンターには「染料インク」と「顔料インク」がありますが、どう違うのでしょうか。

染料インク



用紙の表面にインクの凸凹ができないため、顔料より発色がよく、鮮やかな仕上がりに。

顔料インク



染み込んで広がることがないため、相性の良い紙が多く、階調が豊かで高精細に色を再現できます。

こんな人向け	色	仕上がり
色の精度よりも、スピードや生産性を重視、手軽に！という方にぴったり！	プリント直後と乾燥後では色が異なる場合がありますが、印刷表面が滑らかで、用紙の持つ光沢感をいかせます。	用紙の表面にインクの凸凹ができないため、顔料より発色がよく、鮮やかな仕上がりに。
テストプリントが多く、作品のクオリティ重視！という方向け！	色の安定が染料インクと比べて早いです。また、どんな光源下でもある程度一定に見えるので、展示などに適しています。	染み込んで広がることがないため、相性の良い紙が多く、階調が豊かで高精細に色を再現できます。

紙を選ぶ

用紙を変えるだけで写真のイメージが違ってきます！写真に合わせた紙選びで、写真をよりよく見せましょう！

光沢感

マット ←→ 光沢

光沢は透明感や鮮やかさを印象付けられる、一番よく使われている写真用紙ともいえるでしょう。光沢を半光沢に変えるだけで、しっとりとした風合いを感じられ、マットになればなるほど、やわらかい雰囲気になります。

紙の色

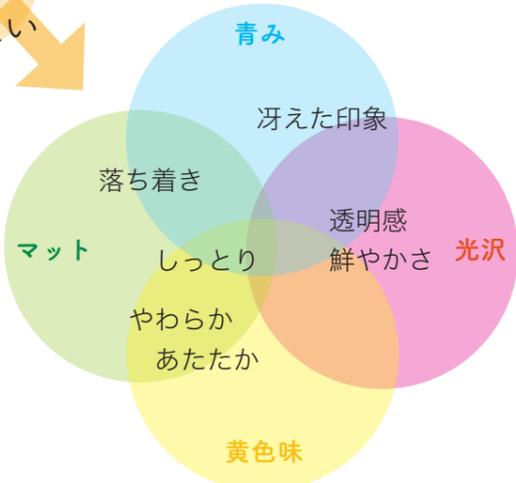
黄 ←→ 青

ハイライトから中間色は紙の白の影響を強く受けます。青みを帯びた用紙はコントラストが高く冴えた印象に、黄色味を帯びると、あたたかみのある優しい印象に仕上がります。

表面

滑らか ←→ 粗い

表面の質感で写真の味わいも変わります。滑らかな平面からは上品さ、アート紙・和紙風などのテクスチャーのある写真用紙では絵画のような風合いや立体感を感じられます。



余白を考える

同じ写真でも余白の付け方で印象が変わります！



写真が用紙に対してぴったりセンターだと、写真が下がって見える場合があります。少しだけ下の余白を大きくすると写真が際立ちます。



余白なし！用紙いっぱいの写真だと迫力が出ます。ただし、写真と用紙の比率が異なると写真が切れてしまうので注意！



写真を挟むマットも実は下の余白のほうが大きく作られていることも

いざプリンター！

プリンターの設定

プリンターは、用紙種類ごとに適したインクの吐出量や色のコントロールをしています。

用紙を購入すると推奨の設定が同封または、パッケージに記載されているので、確認して設定しましょう！



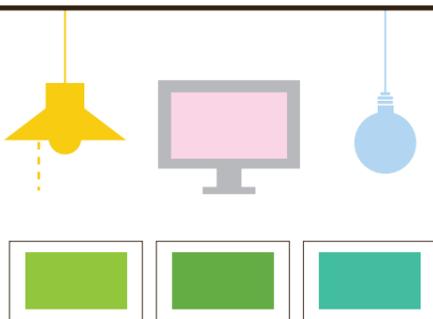
紙の厚みによっては配給口がいつもと異なることも！

紙の状態

手の皮脂や水分がつかないように扱きましょう。また、使わなかった用紙はもとの容器に入れて水平に保管しましょう。用紙が乾燥して反ってしまったり、ほこりの影響を受けてしまいます！

プリントを確認

線が入っていたり、色が変わたと感じる場合は、インクの残量を確認しましょう。プリンターには自分でクリーニングをかける機能もあるので、メンテナンスも使いこなしましょう！



モニターと実際のプリントとは色や印象が異なって見えます。また、照明の種類で色が違って見えることも。テストプリントをしながら、自分の思う写真ができるまで調整してみましょう！

プリントする写真を選び、一枚一枚仕上げていく作業は、写真というものづくりとびきりの一枚をぜひ作ってみてください！

文化ギャラリー information

東川町文化ギャラリー事務所
~1/17 (役場2階) 1/20~ 東川町文化ギャラリー内

12月1日(火)~1月31日(日)
せんとびゅあII ほんの森「写真コレクション」ミニ特集
「比べて観る写真集」

写真集には復刻版や新装版として新たに再編され出版されているものがあります。装丁や組み方の違いによって感じる写真の見え方の違いを楽しんでください！

フォトフェスタや写真甲子園のフェイスブックやインスタグラムはご存知ですか？さまざまな出来事を発信しています！ぜひいいね！やフォローをお願いします！



フォトフェスタ



写真甲子園